

福生新聞

順調に進む元狹山村合併
今頃埼玉県側が騒ぐのは正に憤飯もの

栗原知事は宜しく辞任しそれから出直せ

瑞穂町の元狹山村との合併問題は

すでに埼玉県の手を離れ、中央審議会の第一回現地調査が終る

や、まるで元狹山村の越境合併問題が急に大から降ってきたかのよ

うに埼玉県側は驚き出し、会長に

栗原知事を押し出して元狹山村問

題対策協議会なるものを結成、そ

の決議に曰く……

元狹山村の瑞穂町編入を認める

ことは県内の他の市町村に及ぼ

影響は極めて大なるのみならず

本県における行政運営にも各般

に涉り支障を来たすから吾々は

断固としてこの処分に二百三十

万県民の福祉のため、県の総力

をあげて元狹山村の都合に止め

たのである。しかし、元狹山村の

財政は一片の作文だから、

反対陳情文は片の作文だから、

どうな勝手などを並べても仕方

がない何万人陳情に押しかけ

ても押しかけることは、御自由だ

めだした。

瑞穂町は昭和廿九年五月瑞穂町

に合併を申入れる以前に入間郡地

元選出代議士松永東、松山義雄、

横川重次、平岡忠次郎等の四代

議士、なご瑞穂町編入合併の請願書には當時の県会議長桑田愛三氏

を筆頭とし、斎藤慶次郎、市川宗貞、

谷部秀邦、井ヶ田西之助氏等

元議員が紹介議員となりそれぞれ

瑞穂町に編入合併することについ

て賛成し署名捺印がしてある。

併し昭和三十年九月埼玉県議会は

急ぎ吉岡伊助氏の場合は

立候補者は前町長原良治

氏、石塚幸右衛門氏の事務長は中

立候補者と同様立候補をして、

瑞穂町の連合軍と箱根ヶ崎の

戦いで、長崎の票を多くとった方

が勝つことになろう。

瑞穂町長は昭和廿九年五月に

立候補者と同様立候補をして、

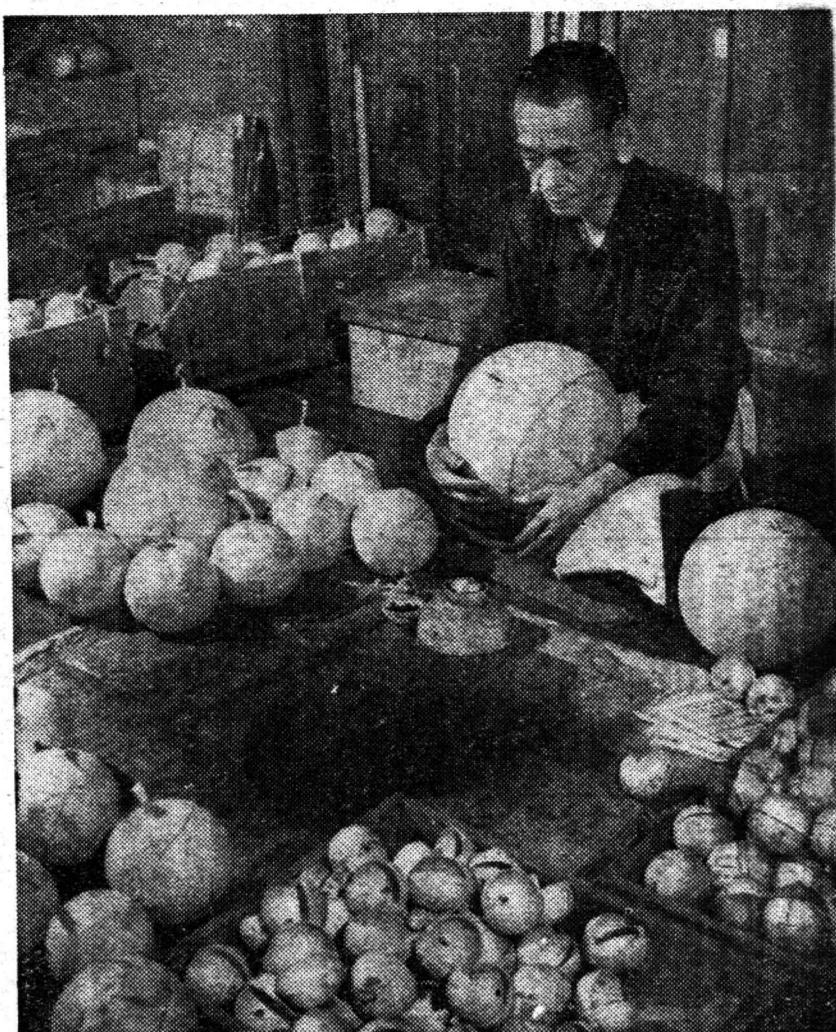
瑞穂町の連合軍と箱根ヶ崎の

戦いで、長崎の票を多くとった方

</

南北アメリカ・カナダ・東南アジア・ドイツ

等に輸出されている!!



躍進する細谷火工株式会社 二二多摩から日本一を誇る製品

花火は火薬が燃えましたら燃焼するときの光、火花、火の粉、音、煙等を巧みに組合せて觀賞の用に供するもので、その現象そのものを指すと/orも、その現象を

を発生するように作られた品物を指してい場合も花火と一般にいわれている。

七色の虹にも似た多彩な光を

に大空にまきちらし、菊の花を形

どつたり、したれ柳を思ひさせたり

あるいは物体、文字、人形をあらわすなど、手加減一つの手芸まで

香り高い芸術味をだよわせる花

火こそは夏の涼味として大衆に親しまれている。

今から三百七十年ほど前「天正年

火薬不少輔南蛮にわたり火薬及び

火砲と共に烟火というものを伝へ

を要するようなら長な時代ではな

く、国内は正に群雄割拠の戦国時

代、血醒い風のふいていた折だか

ら、火薬製法は軍略家の機密とさ

れて、火薬製法は軍略家の機密とさ

れて、火薬製法は軍略家の機密とさ